

商学部 王研究会
2019年度 春学期

ミニプレゼン:

毎週:ミニプレゼン 5分程度

各自が企業、ビジネス、産業の発展等の話題をピックアップし、分析を試みて問題意識を共有する。

本プレゼン:輪読論文・文章

- 1)伊藤 智明(2107)、創業経営者による使用理論の省察と経営理念の制作:創業期のベンチャーにおけるアクション・リサーチ、『組織科学』、51(3)、98-108
- 2)加藤 敬太(2014)、ファミリービジネスにおける企業家活動のダイナミズム、『組織科学』、47(3)、29-39
- 3)木全 晃, 板倉 宏昭(2013)、環境経営における組織文化の影響メカニズム、『組織科学』、47(2)、59-69
- 4)内田 大輔(2016)、株主による企業への関与:日本企業の株主総会に関する実証分析、『組織科学』、50(2)、55-68.
- 5)中内 基博(2014)、技術者間における知識移転の促進要因—情報獲得者の観点から—、『組織科学』、48(2)、61-73
- 6)谷口真美(2016)多様性とリーダーシップ——曖昧で複雑な現象の捉え方——、『組織科学』、50(1):4-24
- 7)鈴木 竜太(2011)、職場における創意工夫のマネジメント: 関わり合う集団の研究開発者の進取的行動への影響に関するクロスレベル分析、『組織科学』、44(4):26-38.
- 8)一小路 武安(2013)、新技術受容性の高い個人とは:革新性を中心とする個人属性と個人の組織との適合性の観点から、『組織科学』、47(1)、53-68.
- 9)鈴木 竜太(2011)、職場における創意工夫のマネジメント: 関わり合う集団の研究開発者の進取的行動への影響に関するクロスレベル分析、『組織科学』、44(4):26-38.
- 10)一小路 武安(2013)、新技術受容性の高い個人とは:革新性を中心とする個人属性と個人の組織との適合性の観点から、『組織科学』、47(1)、53-68.
- 11)王英燕(2017)、「多次元構造と特徴:中国企業の検証」、『組織コミットメント再考(第二章)』、文真堂
- 12)王英燕(2017)、「アイデンティティ志向性の影響」、『組織コミットメント再考(第五章)』、文真堂
- 13)王英燕(2017)、「上司・同僚との情緒的結びつき」、『組織コミットメント再考(第七章)』、文真堂

SPSS 勉強:

米川和雄他著『超初心者向け SPSS 統計解析マニュアル—統計の基礎から多変量解析まで』北大路書房 2010

期末研究発表(チーム研究)

テーマ、背景と問題意識、目的と意義、先行研究、研究対象と方法、期待される成果、今後のタイムスケジュール

以上